



北鶴島で車田植え

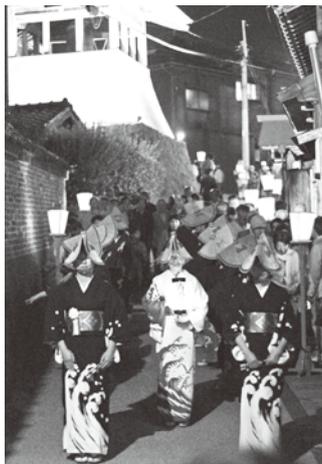
昭和54年に国指定重要無形民俗文化財となった「佐渡の車田植え」が5月17日に行われました。

田植唄が歌われるなか、田の中央に植えた苗を中心に車状に丸く植えていくもので、訪れた地元の方や観光客は、苗で描かれていく田を、さまざまな角度から眺めていました。



第11回 相川・宵乃舞

6月2、3日の2日間、相川大工町・京町通り・佐渡奉行所を会場に「京町音頭流し 宵乃舞」が行われました。今年には23団体が音頭流しに参加し、風情ある町並みに溶け込んでいました。訪れた多くの観光客や地元の方は、ぼんぼりの淡い灯りに照らされた踊りに見入り、相川の夜を楽しんでいました。



島内の伝統芸能が集結

例年、家族連れなど多くの来場者でにぎわう佐渡國鬼太鼓どっとこむが、5月27日、おんでこドームで開催されました。

鬼太鼓や民謡などの芸能披露のほか、佐渡特産品販売や各種体験教室があり、熱気に包まれていました。またメインステージには、昨年制作された新潟私立北越高等学校書道部の作品が飾られ、今年もステージに華を添えていました。



メインステージの様子



場内のいたるところで伝統芸能が披露された

2年ぶりに赤玉で舞う

昨年、雨で中止となった赤玉杉池まつりが5月27日、赤玉の県民休養地まなびの森で行われました。この神事式は市の指定民俗文化財になっており、地元の方や見物客に囲まれ、大鬼舞、小鹿舞、花笠踊が披露されました。



ダイナミックな動きの小鹿舞

大野亀で佐渡カンゾウまつりを開催

6月10日、願地区の大野亀で「佐渡カンゾウまつり」が行われました。見頃を迎えたカンゾウの花に囲まれ、会場は大勢の方でにぎわっていました。また大阪の看板人形「くいだおれ太郎」、県のスキー観光PRキャラクター「レルヒさん」がかけつけ、佐渡天然ぶりカツ丼のキャラクター「ぶりカツくん」とともに会場を盛り上げていました。

内海府中学生によるガイドボランティアも好評で、訪れた観光客らはきれいな佐渡の風景を眺めながら解説を聞いていました。



マスコット(左から)くいだおれ太郎、レルヒさん、ぶりカツくん



内海府中学生のガイドボランティアの様子